

学校支援員等の配置と新学習指導要領の全面实施

アナ： 『市長が語る 2021 三島』 第13回の今日は、「三島市の小中学校における学校支援員等の配置と新学習指導要領の全面实施」についてお話を伺います。

豊岡市長、よろしくお願いします。

市長： よろしく申し上げます。

アナ： 現在、三島市内の小中学校には、「学校支援員」が配置されているそうですが、どのくらいの人数が配置されているのでしょうか。

市長： はい。

三島市では、通常学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする子が、円滑に集団生活に適應できるよう、小学校1年生の全学級と、学校の実情に応じて、小学校2年生から中学校3年生までの一部の学級に、市全体で合計54人の「学校支援員」を配置しております。

アナ： 「学校支援員」は、どのような役割をされているのでしょうか。

市長： はい。

例えば、クラスの子全員に対する先生の指示だけでは、すぐに活動に取り組めない子どもの補助をしたり、個別の学習の際に、わかりやすく問題を説明したりするなど、学校の教育活動の中で、子どもたちの学びを補助する仕事をしています。

アナ： 昨年度から、小学校の「学校支援員」として看護師と介助員が配置されていると伺いましたが、そのことについて教えてください。

市長： はい。

医療的ケアや学校生活での介助を必要とする子を支援するため、昨年度、新たに看護師2名と介助員1名を配置し、その子の状況に応じた学習環境の充実に図っております。

アナ： それぞれの子どもの状況に応じた学習環境が整えば、保護者の方には大変心強いですし、安心ですね。

さらに今年度からは、特別支援学級や通級指導教室が増設され、「指導員」も追加で配置されたとお聞きしましたが、「指導員」とはどのような役割をされているのでしょうか。

市長： はい。

特別支援学級や通級指導教室では、それぞれの子どものごとに教育的ニーズや必要となる支援の内容及び大きさが異なります。

そこで、教員免許を持ち、専門的な視野でその子の特性に合わせた支援や指導を行う「指導員」を配置しています。

令和3年度は、北上小に特別支援学級を新設し、指導員を1人配置いたしました。

また、西小、北小、中郷小、南中の4校には通級指導教室を設置しており、ここでは、生活上や学習上の困難を改善又は克服し、その子の持てる力を高めるために、「指導員」が、適切な教育や指導を行っています。

今年度は中郷小と南中に教室を増設し、指導員を1人ずつ増やしました。

アナ： 学校で、それぞれの子に合った支援を提供することで、一人一人に目の行き届いた教育が実現するということですね。

ところで、今年度は中学校で、学校での学び方や学習内容を示した「学習指導要領」が全面実施されたそうですね。

市長： はい。

学習指導要領は、文部科学省がおおむね10年ごとに改訂を行っています。

小学校では、昨年度から新しい学習指導要領が全面実施されましたが、中学校では、今年度から全面実施されました。

アナ： この新しい学習指導要領は、どのようなものなのでしょうか。

市長： はい。

「主体的・対話的で深い学び」を通して、子どもたちが得た知識の理解の質をさらに高め、確かな学力を育成することや、子どもたちが未来を切り拓くための資質や能力を一層確実に育成することを重視したものです。

アナ： 市内の小中学校の先生方も、この新しい学習指導要領の理念の実現のために研修に取り組んでいらっしゃるのでしょうか。

市長： はい。

豊かな創造性を備え、持続可能な社会の創り手となることが期待される三島の子どもたちに、確かな学力と生きる力を育むことを目指し、先生方は日々、研修や授業改善に取り組んでおられます。

アナ： これからの三島の子どもたちの成長が楽しみです。

豊岡市長、本日はありがとうございました。

市長： ありがとうございました。